第 3 章　道路附属物等の色彩計画

1. 色彩計画

・道路附属施設等の色彩は、マンセル色相表示１０ＹＲ系の色彩を基本とする。
・景観エリアで指定した山間地景観区間については、ダークブラウンを基本とし、亜鉛メッキも使用可能とする。
・市街地景観区間については、グレーベージュの外に必要に応じて、補助色としてオフホワイトも使用可能とする。
・道路附属物のうち、塩害等の影響により耐久性が要求されるものについては、景観エリアを問わず亜鉛メッキ仕様としてもよい。
・横断歩道橋や橋梁等の色彩面積の大きい施設構造物については、基調色をグレーベージュとするが、地域特性等に配慮した色彩の選択ができるものとする。ただし、その場合の明度及び彩度（色のトーン）については、本マスタープランに定めた範囲内とする。

表3-1 景観区間別基調色

分類	区　間	基　調　色（色のマンセル値は下図参照）		
		防護柵	照明柱･標識	橋　梁
自然景観	田園地景観区間	グレーベージュ	亜鉛メッキ	グレーベージュ ＆10YR系
	山間地景観区間	ダークブラウン　亜鉛メッキ	亜鉛メッキ	グレーベージュ ＆10YR系
都市景観	市街地景観区間	グレーベージュ　オフホワイト	亜鉛メッキ	グレーベージュ ＆10YR系
	郊外地景観区間	グレーベージュ	亜鉛メッキ	グレーベージュ ＆10YR系
	工業地景観区間	グレーベージュ	亜鉛メッキ	グレーベージュ ＆10YR系

□ 基調色

ダークブラウン（こげ茶色）	グレーベージュ（薄灰茶色）	オフホワイト（乳白色）	溶解亜鉛メッキ色（褪色後）
10YR　2.0／1.0　程度	10YR　6.0／1.0　程度	10YR　8.5／0.5　程度	

道路附属物等の色彩計画にあたっては、沿道景観との関係に留意する必要がある。また、道路景観マスタープランの策定の根本的な考え方としては、道路附属物等が目立たないように、周囲景観に融和することを目指している。したがって、対象物の「色相」「トーン」と周辺景観との関係を踏まえた国道４号、新４号及び５０号の沿道景観（地域景観）をもとに分類した景観エリア毎の基調色を選定した。

(1) 色相

「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」では、一般的な我が国の自然や風土、建築物等との融和性の観点より基調色として、マンセル表色系の色相 10YR（イエローレッド）系の色彩を示している。

その理由として、我が国の伝統的な街並みや現代の建物の外壁は、10YR 系の色彩が基調色となっている場合が多い、自然の土や岩、樹木の幹の色彩についても YR 系の色彩である場合が比較的多い、さらに、同じ色相の色を用いれば、明度や彩度が異なっても互いに調和しやすいことをあげている。

対象とする国道４号、新４号、５０号においても、同様の傾向が見られることより、基調色の選定にあたっては 10YR（イエローレッド）系の色彩を採用した。

マンセルシステムの色相環

※マンセル表色系では色相を主要 10 色相に分け、さらにそれぞれを 1～10 までに細分し、100 の色相を表している。

10 色相： 赤（R）、黄赤（YR）、黄（Y）、黄緑（GY）
緑（G）、青緑（BG）、青（B）、青紫（PB）
紫（P）、赤紫（RP）

(2) トーン

明度・彩度の違いによる色調のことをトーンといい、薄い・濃い、明るい・暗いなどの修飾語によって表現する。環境と融和するのは、低明度・低彩度の色彩とされ、彩度 6 以下、明度 6 以下がおおよその目安である。これにトーンを照らし合わせると、環境に融和するトーンは、「ダーク」「グレイッシュ」「ダークグレイッシュ」「ライトグレイ」「グレイ」「ダークグレイ」「ブラック」となる。

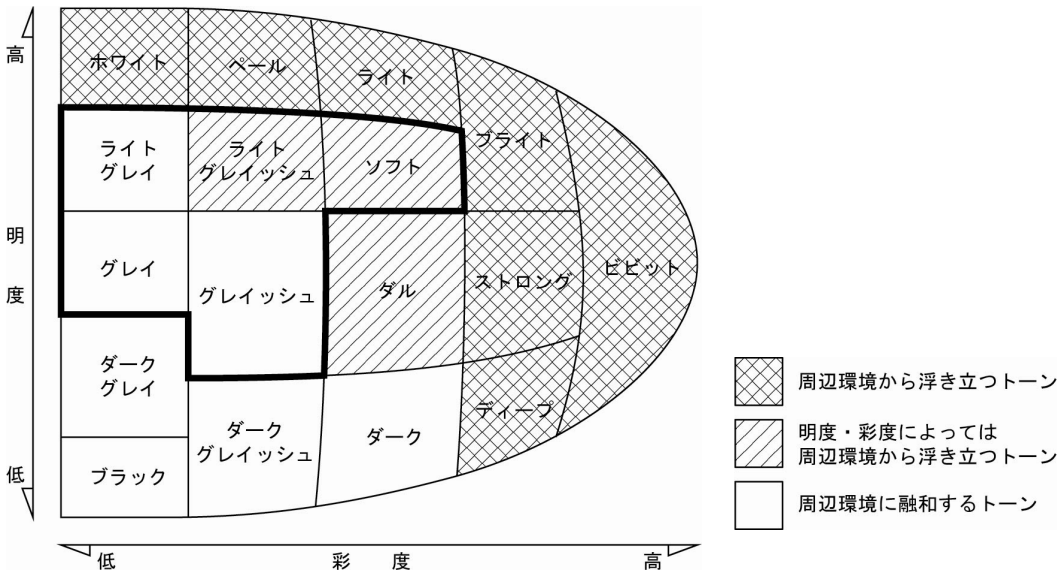

図3-2 トーンの細別分類図

⑶ 基調色の設定経緯

基調色の設定にあたっては、前記の色彩方針ならびに「とちぎ国道 道路景観検討懇談会：平成16年度開催」における検討結果及び「道路附属物アンケート調査：平成16年12月実施」の傾向をもとに、「景観に配慮した防護柵のガイドライン」などで示されている景観に関する理念を踏まえて選定した。

表3-2 設定経緯一覧表

項目	内　　容
「とちぎ国道 道路景観検討懇談会」における主な意見	・ダークブラウンやダークグレーは屋外で見るとより黒く感じる。もう少し明るい色の方が周囲の風景になじむと思われる。 ・季節により背景の色彩は変わる、１年を通じて融和する色彩を選定すべきである。その点では、ダークブラウンよりは、グレーベージュの方が適していると思われる。 ・国立公園内ではダークブラウンと亜鉛メッキが推奨されている。
アンケート調査結果による色彩の傾向	・基本的に、No.１，４，７（右図参照）のような明るめの色彩が選択されている。 ・路線の中で様々な色彩を使用せず、統一した色彩を使用したほうがよいという意見があった。 注）№1：オフホワイト №3：ダークグレー №5：グレーベージュ №6：ダークブラウン **（参考）アンケート調査色見本**
「景観に配慮した防護柵のガイドライン」による基調色	・一般的な我が国の自然や風土、建築物等との融和性の観点より、基本的な色としては１０ＹＲ系を示している。 ・ダークブラウン、ダークグレー、グレーベージュを基本３色、補助色としてオフホワイトが提示されている。 ・道路附属物は標準品を設置するため、基調色以外の色を選定する場合、コストアップになり、現実性がない。
国立公園などにおける公的な管理方針として	・建築物：屋根は原則として黒またはこげ茶、壁面は自然材料以外の材料を用いる他は、クリーム系色・ベージュ系色・茶系色・白色または灰色とする。 ・車　道：原則として、こげ茶または亜鉛メッキ仕上げとする。 ・電柱・鉄塔・アンテナ等：原則として、こげ茶色とする。

山間地景観

歩道橋：グレーベージュ

照明・標識柱：亜鉛メッキ

郊外地景観

歩道橋：グレーベージュ

照明・標識柱：亜鉛メッキ

田園地景観

歩道橋：グレーベージュ

照明・標識柱：亜鉛メッキ

市街地景観

歩道橋：グレーベージュ

照明・標識柱：亜鉛メッキ

工業地景観

歩道橋：グレーベージュ

照明・標識柱：グレーベージュ

⑷ 防護柵、照明柱、標識柱（塗装する面積が少ない対象物）の色彩

防護柵、照明柱、標識柱などの道路附属物は、基本的に線で構成され、塗装する面積が少ないが、多数設置されることから、統一した色彩にすることで騒色性を避けることが重要となる。したがって、景観エリアで定めた基調色を塗装することを原則とする。

また、照明柱、標識柱については、従来の塗装仕様から耐久性の観点でライフサイクルコスト効果の高い亜鉛メッキ仕様に変更され、普及が進められている。

亜鉛メッキのメッキ被膜は、施工直後は銀白色の光沢を有するため、周囲の景観になじみにくいが、経年変化（一定期間：2～3 年程度）により低明度化しダークグレー色となるため、結果として景観調和に適した色彩になる。なお、亜鉛メッキを設置当初から、低明度化する方法として「リン酸化処理」がある。このリン酸化皮膜ははがれやすいこと、コストが大幅にアップすること等から、防護柵、照明柱へのリン酸化処理は行わないものとする。

表3-3 コスト比較表

仕様	コスト比率
標準塗装	100
メッキ	110～115
メッキ＋リン酸塩処理	135～145

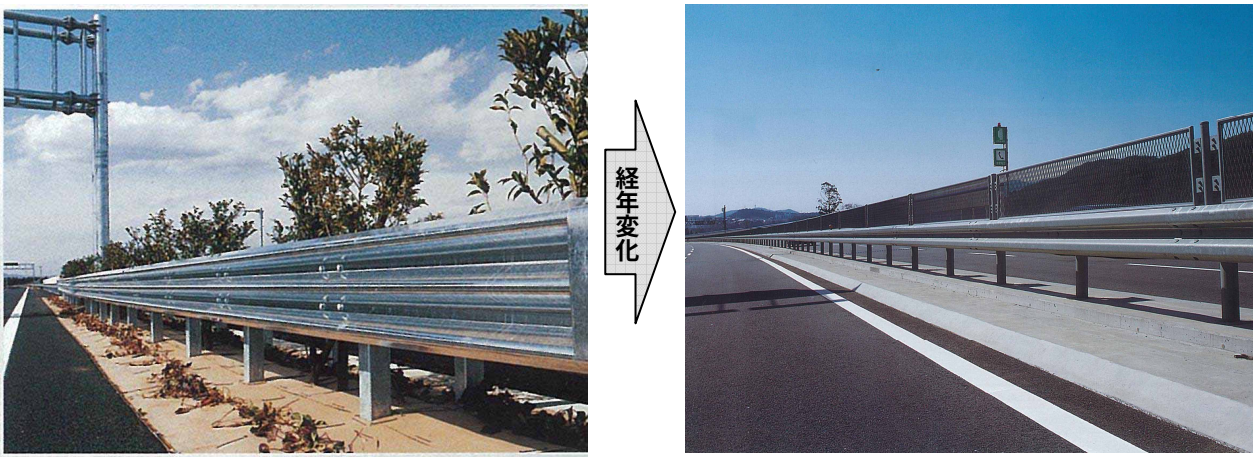

図3-3 亜鉛メッキの経年変化対比

[参考]

季節変化における、道路附属物基調色による色彩調和イメージ

	山間地（春・夏）	山間地（秋・冬）
ホワイト		
ダークブラウン		
グレーベージュ		
亜鉛メッキ		

※現況写真を基に、防護柵の基調色をＣＧ合成したものである。

	田園地（春・夏）	田園地（秋・冬）
ホワイト		
ダークブラウン		
グレーベージュ		

※現況写真を基に、防護柵の基調色をＣＧ合成したものである。

(5) 横断歩道橋、橋梁［高架橋、跨道橋、河川橋］（塗装する面積が多い対象物）の色彩

横断歩道橋など道路軸に対して横断的に設置され規模も大きい場合においても、基調色としてはグレーベージュを基本とする。

ただし、道路景観において大規模な面積を占め、周辺の景観に与える影響も大きいため、周辺景観とのバランスの不調和を起こす可能性がある場合は、景観エリアの基調色（グレーベージュ）を前提に色相は変えずにトーンにより調整する。しかし、対象物に地域の特色を表現することが求められ、基調色以外の色相を採用する際は、広い塗装面が周辺環境と調和することが可能なトーンの範囲として、「トーンの細別分類図」から「ライトグレイ」、「グレイ」、「ライトグレイッシュ」、「グレイッシュ」、「ソフト」の５つのトーンより選択するものとする。

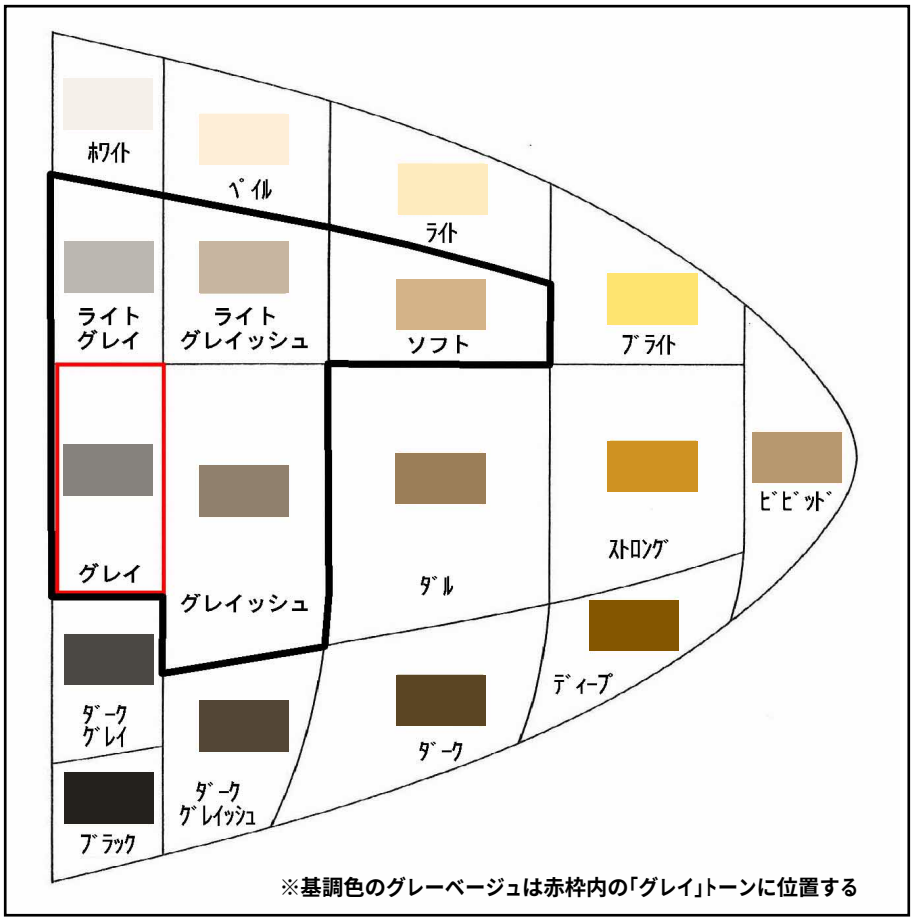

図3-4 10YR色彩トーン図

10YR 以外の色相を選択する場合の目安として、マンセル表色系における 5R から 10RP までの色相について選択可能なトーンを参考として以下に示す。

表3-4 基調色以外の色相とトーン〔参考〕

色相＼トーン(明度/彩度)	ライトグレイ (7.5／0.5)	グレイ (5.5／0.5)	ライトグレイッシュ (7.5／2.0)	グレイッシュ (5.5／2.0)	ソフト (7.5／4.0)
5 R					
10 R					
5 Y R					
10 Y R					
5 Y					
10 Y					
5 G Y					
10 G Y					
5 G					
10 G					
5 B G					
10 B G					
5 B					
10 B					
5 P B					
10 P B					
5 P					
10 P					
5 R P					
10 R P					